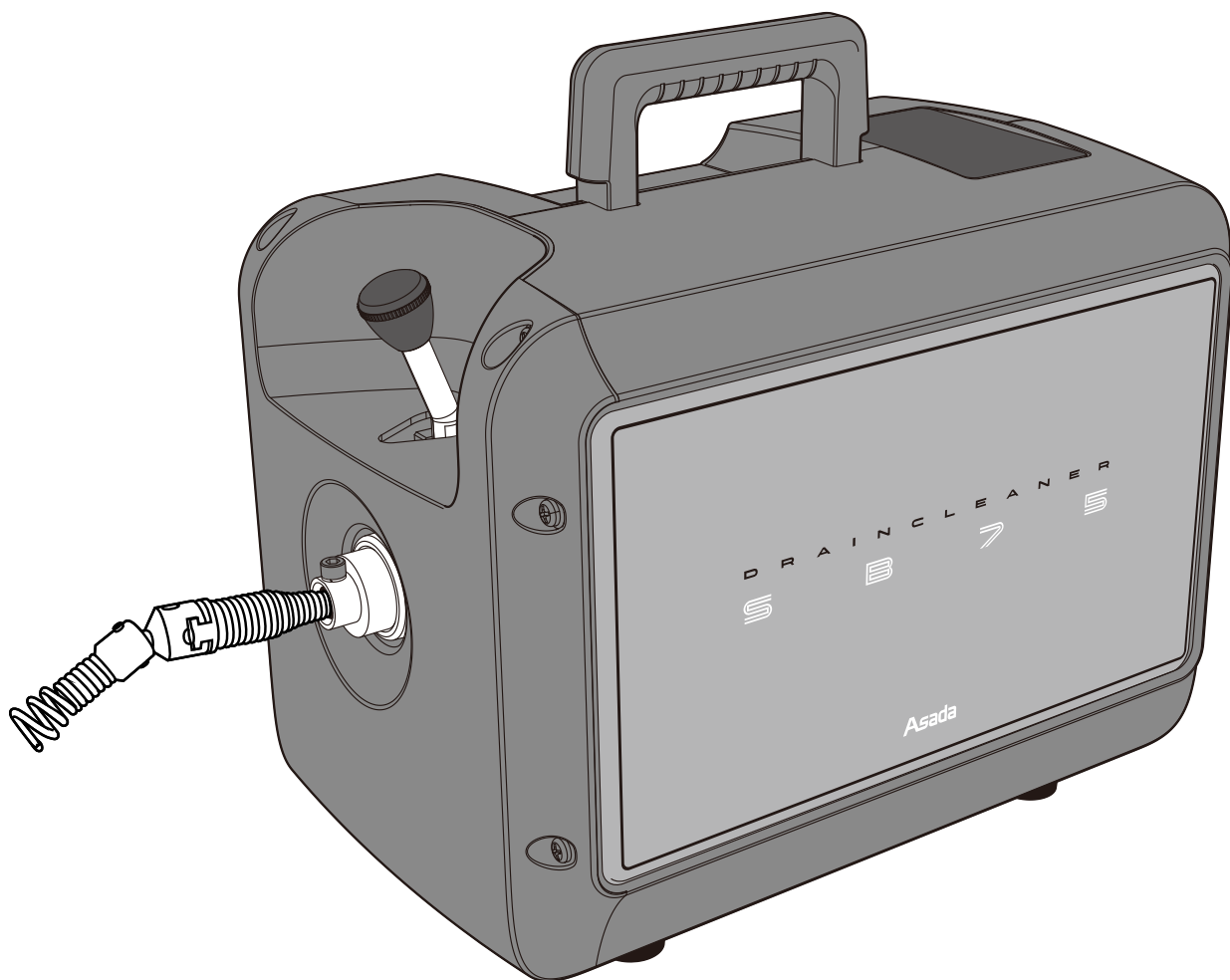


# Asada ドレンクリーナ SB75

## 取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

## はじめに

このたびは、【ドレンクリーナ SB75】をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ・本書はお使いになる方に必ずお渡してください。
- ・ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- ・適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- ・本書はお使いになる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。
- ・本機を用途以外の目的で使わないでください。
- ・商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ご注文の商品と仕様に違いはないか。
  - ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・付属品等に不足はないか。
- ・万一不具合が発見された場合は、至急お買い求めの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

## 目次

**PDFデータには、しおり機能があります。**

**タイトルをクリックすると、該当ページへジャンプします。**

|                     |    |
|---------------------|----|
| 安全上のご注意             | 3  |
| 各部の名称と仕様            | 5  |
| 各部の名称               | 5  |
| 仕様                  | 5  |
| 標準付属品               | 5  |
| 別販売品                | 6  |
| 操作パネルの使用方法          | 7  |
| バッテリーと充電器の使用方法      | 8  |
| バッテリーの保護機能          | 8  |
| バッテリーの充電方法          | 8  |
| バッテリーの取り付け方法・取り外し方法 | 9  |
| バッテリーの残量表示機能        | 9  |
| 本体の使用方法             | 10 |
| 本体の準備               | 10 |
| 運搬                  | 10 |
| ヘッドの取り付け・取り外し       | 10 |
| ワイヤの交換方法            | 11 |
| ワイヤをドラムに収納しやすくする方法  | 11 |
| 作業方法                | 12 |
| 手動での操作              | 13 |
| ご使用の後に              | 14 |
| 清掃                  | 14 |
| 保守・点検               | 14 |
| 本機内およびドラム内の清掃方法     | 15 |
| ドラムの分解方法            | 15 |
| 保管方法                | 15 |
| バッテリーの廃棄について        | 16 |
| 修理・サービスを依頼される前に     | 16 |

## 安全上のご注意

本書および本機に使用している警告表示は、次の2つのレベルに分類されます。



### 警告

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



### 注意

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

## 警告

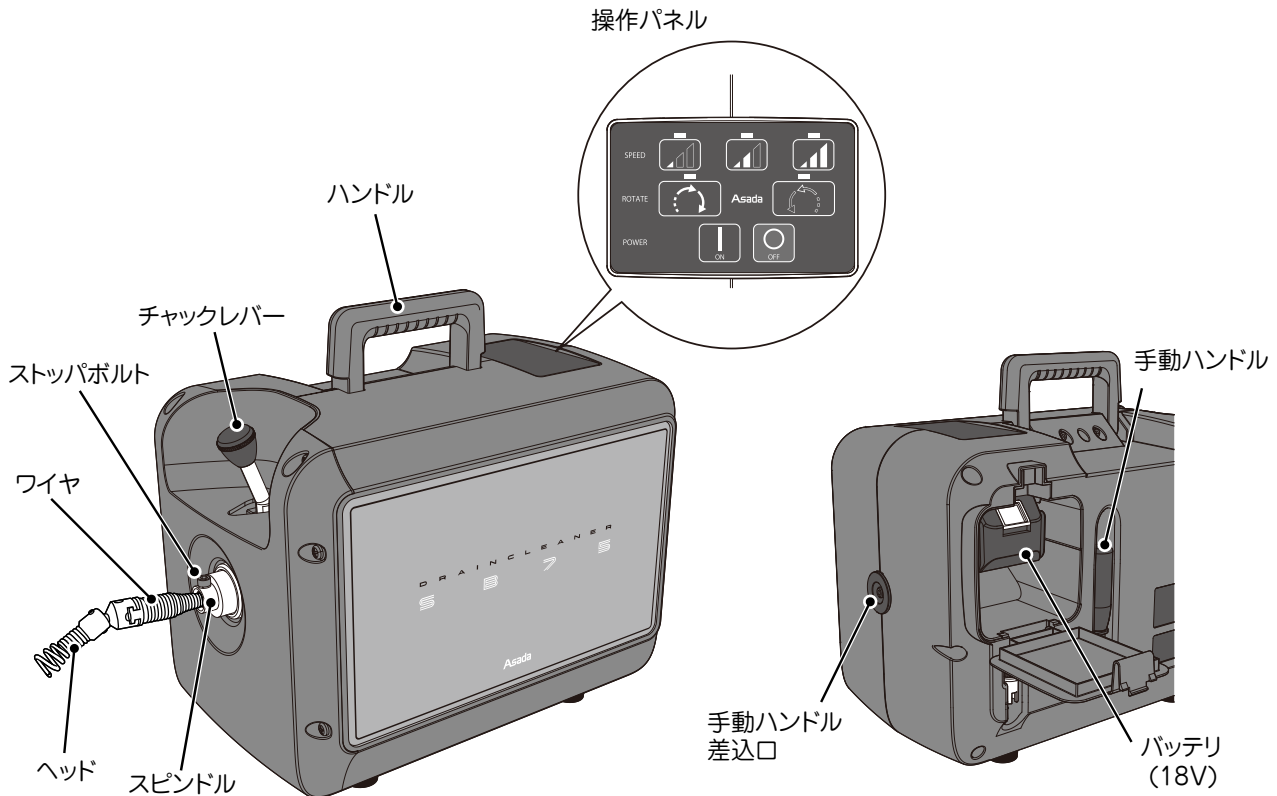
- ◆ 消耗品の交換や点検以外は本機を分解しないでください。
- ◆ 改造は絶対に行わないでください。
- ◆ ワイヤを扱うときには、軍手を使用せず、安全手袋を使用してください。  
推奨品：【R15439 安全手袋（両手）】  
軍手などは使用しないでください。回転するワイヤに巻き込まれて、ケガをすることがあります。
- ◆ 傾斜していたり、不安定な場所には設置しないでください。
- ◆ 目を保護するため、使用中は保護メガネを使用してください。
- ◆ 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。
- ◆ 回転させたまま放置しないでください。  
他の人が巻き込まれてケガをします。
- ◆ バッテリーと充電器はマキタ純正品を使用してください。
- ◆ バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。  
他の充電器を使用すると、火災・発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。
- ◆ 専用のバッテリー以外は使用しないでください。  
また、改造したバッテリーは使用しないでください。  
本機の性能や安全性を損なう恐れがあり、火災やケガ、故障、破裂などの原因になります。
- ◆ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。  
バッテリーを金属と一緒に工具箱などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。  
本機または充電器から外した後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
- ◆ 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。  
漏れ出た液体に不用意に触れないでください。  
万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- ◆ 充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。  
発火したり、異常動作して、ケガをする恐れがあります。
- ◆ 雨中では使用しないでください。
- ◆ 本機に水をかけないでください。防水仕様ではありません。
- ◆ 結露する環境では使用しないでください。
- ◆ 使用前に、バッテリーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。  
異常がある場合は、使用せず修理を依頼してください。
- ◆ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または弊社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- ◆ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

## ⚠ 警告

- ◆ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
  - ◆ ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。  
棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
  - ◆ バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。  
発火、破裂の恐れがあります。
  - ◆ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えないでください。  
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
  - ◆ バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。  
バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
  - ◆ 本機を担当者以外に操作させないよう管理してください。
  - ◆ 結果の予測ができない、または確信の持てない取り扱いをしないでください。
  - ◆ 本機を使用目的以外の用途には使用しないでください。  
本機は排水管内などを清掃するための機械です。
  - ◆ 本機に負担のかかる無理な使用はしないでください。
  - ◆ 作業場など本機の周辺は整理整頓し、常にきれいな状態を保ってください。
  - ◆ 疲労、飲酒、薬物などの影響で作業に集中できないときは操作しないでください。
  - ◆ 本機を使用しないときは、乾燥した場所で子供の手の届かないまたは、鍵のかかる場所に保管してください。
  - ◆ 本書および弊社カタログに記載されている指定の付属品、別販売品以外は使用しないでください。  
事故や故障の原因となります。
  - ◆ 本機を落としたりぶついたりした場合は、ただちに破損、亀裂、変形などが点検してください。  
破損、亀裂、変形などがある状態で作業を行うと、ケガや事故の原因となります。
  - ◆ 各部に変形、腐食などが点検がないか日常点検を行ってください。
  - ◆ 本機の異常に気づいたときは、ただちに使用を停止し、本書の P.16「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。
- ※ 充電器の「安全上のご注意」は、充電器の取扱説明書をご参照ください。

# 各部の名称と仕様

## 各部の名称



## 仕様

|          |   |
|----------|---|
| 品名       | ドレンクリーナ SB75  |
| コード No   | SB750   |
| 清掃能力     | φ 20 ~ φ 75mm 最長距離 10m  |
| 回転数      | 低速 : 150min <sup>-1</sup> 中速 : 210min <sup>-1</sup> 高速 : 270min <sup>-1</sup> |
| モータ      | DC18V   |
| 使用バッテリー  | マキタ製 18V 6Ah (リチウムイオン電池)  |
| 使用温度     | 0℃ ~ 45℃  |
| 満充電時使用時間 | 低速 : 約 5 時間 中速 : 約 4 時間 高速 : 約 3 時間<br>(18V 6Ah バッテリの場合)                      |
| 本体サイズ    | L:437mm × W:260mm × H:313mm   |
| 本体質量     | 10.6Kg (18V 6Ah バッテリなし) 11.2Kg (18V 6Ah バッテリ含む)                               |

※仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 標準付属品

| コード No. | 商品名                 | 個数 |
|---------|---------------------|----|
| DH330   | 継手付ワイヤφ 8 × 12m     | 1  |
| 48608   | ドロップヘッドφ 15mm       | 1  |
| 70135   | ワイヤキー               | 1  |
| SB765   | 手動ハンドル              | 1  |
| SB766   | ワイヤロックボルト           | 1  |
| 86003   | 角棒スパナ 5             | 1  |
| IM0706  | ドレンクリーナ SB75 ご使用ガイド | 1  |

## 別販売品

| コード No. | 商品名                      |
|---------|--------------------------|
| DH331   | 継手付ワイヤφ 10x10.5m (ストッパ付) |
| 48601   | バルブヘッドφ 24mm             |
| 48606   | ドロップヘッドφ 24mm            |
| 48609   | ファネルヘッドφ 24mm            |
| 48610   | ファネルヘッドφ 32mm            |
| 48611   | ファネルヘッドφ 38mm            |
| 48612   | ファネルヘッドφ 60mm            |
| 48613   | グリースカッタφ 22mm            |
| 48616   | グリースカッタφ 36mm            |
| 48617   | グリースカッタφ 62mm            |
| 48618   | ワイヤブラシφ 20mm             |
| 48619   | ワイヤブラシφ 30mm             |
| 48626   | ワイヤブラシφ 40mm             |
| 48620   | ワイヤブラシφ 50mm             |
| R15439  | 安全手袋 (両手)                |

## ⚠ 注意

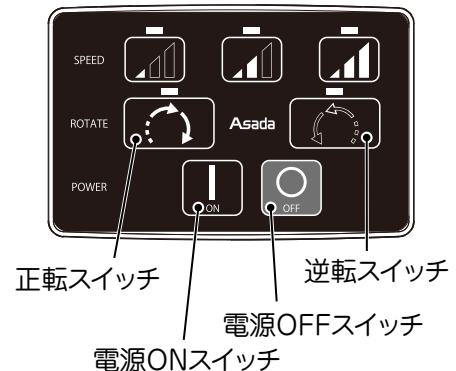
◆ 操作パネルの残容量表示はあくまで目安とし、バッテリーに搭載している残容量表示機能にて残容量の確認を行ってください。

### ● 電源 ON、OFF

電源 ON スイッチを 1 秒長押しすると、全部の LED が点灯し電源が ON になります。  
電源 OFF スイッチを 2 秒長押しすると、電源が OFF になり全 LED が消灯します。

### ● 正転、逆転

正転スイッチを押すとワイヤが右回転します。  
逆転スイッチを押すとワイヤが左回転します。  
回転を止める場合は、電源 OFF スイッチを 1 度押します。  
正逆回転の切り替えを行う場合は、電源 OFF スイッチを 1 度押して回転を止め、全部の LED が点灯したことを確認した後、逆転スイッチを押して始動させます。  
電源 OFF スイッチを 1 度押して回転を止めた際、安全のため 2 秒間操作が出来なくなります。  
2 秒の間は、全部の LED が点滅し、その後 LED が点灯に変わり、操作可能となります。

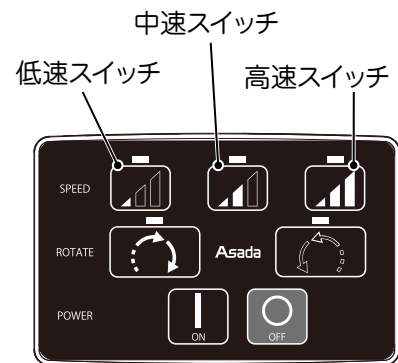


### ● 回転速度の変更

本機の回転速度は、安全のため、正転および逆転スイッチを押すと必ず低速で始動します。  
その後、速度を変更する場合は、中速スイッチまたは高速スイッチを押してください。  
低速 150min<sup>-1</sup> 中速 210min<sup>-1</sup> 高速 270min<sup>-1</sup>

### ● 異常通知

保護機能により、モータが自動停止した場合、全部の LED が点滅します。  
異常の原因を取り除くと全部の LED が点灯に変わり、操作が可能になります。  
異常の原因が特定できない場合は一度電源を OFF にし、再び電源を ON にしてください。



### ● バッテリー残容量表示

電源を ON にすると、数秒間回転速度 LED がバッテリーの残容量に応じて点滅します。

| LED表示ランプ | バッテリー残容量 |
|----------|----------|
|          | 60%~100% |
|          | 30%~60%  |
|          | 0%~30%   |

## バッテリーと充電器の使用方法

### ▲ 注意

- ◆ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。
- ◆ ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ◆ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。
- ◆ バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ◆ バッテリーと充電器はマキタ純正品をご利用ください。
- ◆ バッテリーの充電方法は、充電器に付属の取扱説明書をご参照ください。

## バッテリーの保護機能

### ▲ 注意

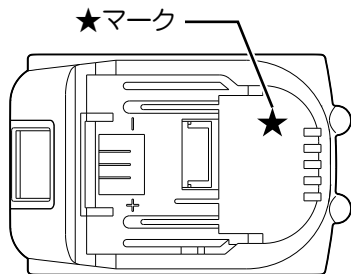
- ◆ 本機を使用中、モータが自動停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

#### 保護機能

- バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。
  - 使用を中断して本機からバッテリーを取り外し、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
  - バッテリーを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。
- バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。
  - 本機からバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
- 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
  - 本機からバッテリーを取り外した後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

#### ★マークについて

図のように★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



## バッテリーの充電方法

バッテリーの充電方法は、充電器に付属の取扱説明書をご参照ください。

## バッテリーの取り付け方法・取り外し方法

### ⚠ 警告

◆ **バッテリーは確実に本機に差し込んでください。**

バッテリーのボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。  
差し込みが不十分の場合、外れて事故の原因になります。

◆ **本機は 18V バッテリーでのみ作動します。**

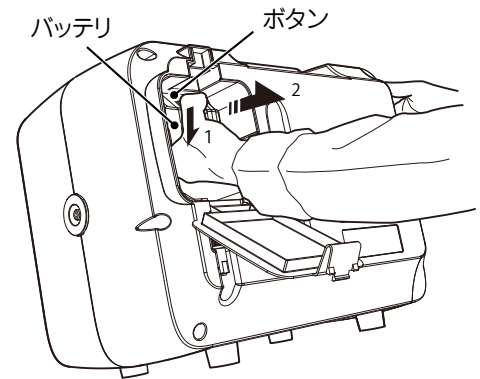
バッテリーは 6Ah、5Ah、4Ah、3Ah 以外は使用しないでください。  
Ah によって満充電時使用時間が異なります。

- ① バッテリーを本機から取り外すときは、バッテリー正面のボタンを下げながら手前にスライドさせてください。

※図のように本機を傾けると取り外しやすくなります。

- ② 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。

※この際、バッテリー正面のボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。  
赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



## バッテリーの残量表示機能

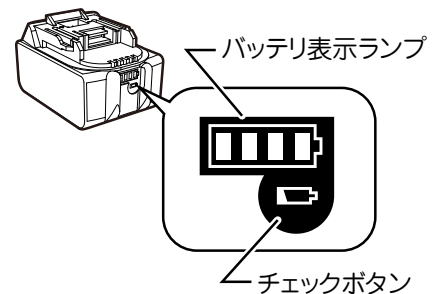
### ⚠ 注意

◆ **表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。**

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。  
チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。

■:点灯 □:点滅 □:消灯

| バッテリー表示ランプ | バッテリー残容量 | バッテリー表示ランプ | バッテリー残容量   |
|------------|----------|------------|------------|
| ■ ■ ■ ■    | 75%-100% | ■ □ □ □    | 充電してください   |
| ■ ■ ■ □    | 50%-75%  | ■ ■ □ □    | バッテリーの異常です |
| ■ ■ □ □    | 25%-50%  | □ □ ■ ■    |            |
| ■ □ □ □    | 0%-25%   |            |            |



# 本体の使用方法

## 本体の準備

### ⚠ 警告

- ◆ 引火性のものや火気のある場所で使用しないでください。
- ◆ 雨中では使用しないでください。
- ◆ 本機に水をかけないでください。防水仕様ではありません。
- ◆ 本機周辺は十分な作業スペースを確保してください。

使用環境を十分考慮して、本機を使用してください。

## 運搬

### ⚠ 警告

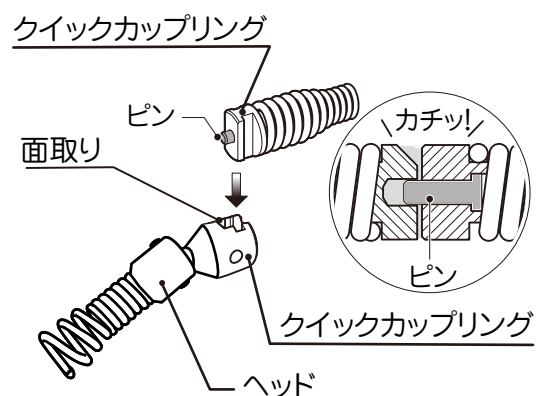
- ◆ 本機を持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。

本機を運搬する時はハンドルを持って運搬してください。

## ヘッドの取り付け・取り外し

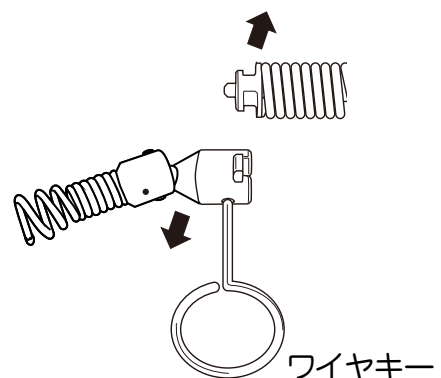
### ● ヘッドの取り付け

- ① クイックカップリングの溝部をスライドさせて接続します。
- ② 溝に面取りがある側から差し込んでください。
- ③ 中のピンが確実に入り、クイックカップリングが外れないことを確認してください。



### ● ヘッドの取り外し

- ① ワイヤキーをキー穴に差し込み、ヘッドを横へスライドさせて外します。



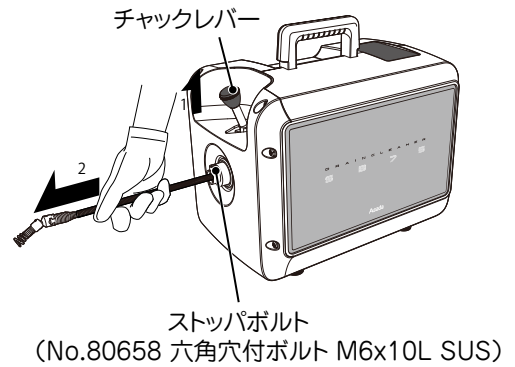
## ワイヤの交換方法

### ● ワイヤをドラムから引き抜く方法

- ① チャックレバーを確実に起こしてください。
- ② ワイヤ脱落防止のためワイヤストッパがあります。ストッパボルトを緩めて、ワイヤを引き抜いてください。

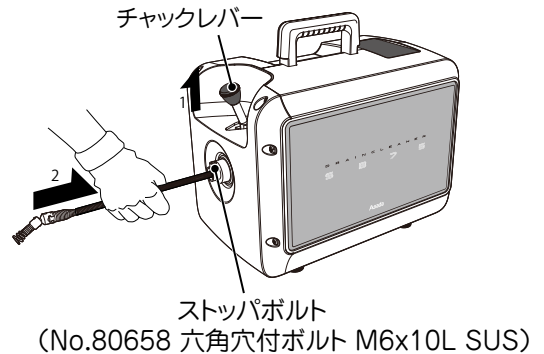
※引き抜く際、ワイヤストッパがストッパボルトに干渉しないようにしてください。

ワイヤが抜けにくい場合は、P.15「本機内およびドラム内の清掃方法」に記載されているドラムの取り外し方法を参照して、ドラムを分解してワイヤを取り出してください。取り出しが終わったら、外した順序とは逆の順序で戻してください。



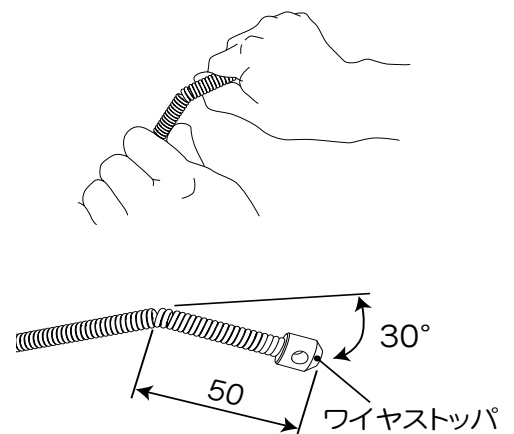
### ● ワイヤをドラムに収納する方法

- ① チャックレバーを確実に起こしてください。
- ② ストッパボルトを緩めて、ワイヤストッパ側からワイヤをスピンドルへ挿入してください。
- ③ 挿入後は、ストッパボルトを締めてください。



## ワイヤをドラムに収納しやすくする方法

- ワイヤの先端から 50mm のところで、30° を目安に手で折り曲げてください。ワイヤを曲げることで、ワイヤをスムーズにドラムへ収納することができます。



## ⚠ 注意

- ◆ 回転中ワイヤに負荷がかかり、ワイヤが絡まったりよじれを感じたら電源 OFF スイッチを押して回転を停止させてください。そのまま回転をさせ続けると、ワイヤが破損したり、ケガの原因になります。

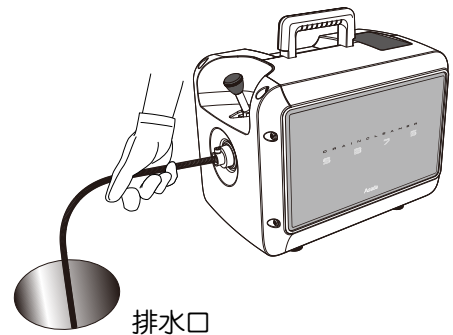
### ● 手順

電源 ON → 正転 or 逆転 → 速度選択

- ① 電源 OFF スイッチを2秒長押しして電源を OFF にしてください。

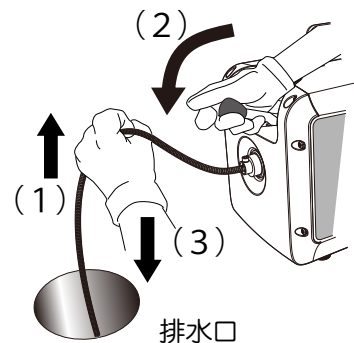
- ② 手動ハンドルを後方の手動ハンドル差込口に差し込み、ハンドル止めねじを締めてください。

※電源が ON のままハンドル止めねじを締めると、安全のため全部の LED が点滅に変わり、操作パネルでの操作ができなくなります。  
ハンドル止めねじを緩めて手動ハンドルを外すと、全部の LED が点滅から点灯に変わり、操作パネルでの操作が可能になります。



- ③ ヘッドが詰まり物に突き当たったところ、または配管の曲がりが見つかったところで、ワイヤに抵抗がかかります。

ワイヤを少し引き出し (1) ワイヤをたるませた状態でチャックレバーを倒して (2)、ワイヤを固定し挿入します。

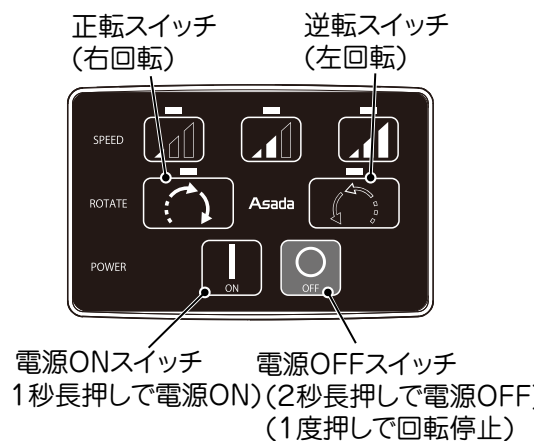


- ④ 正転スイッチを押してワイヤを回転させ、たるませたワイヤを押し戻すように押し込みます。  
(3) 曲がりの通過や詰まりを取り除く場合は、正転 (右回転) で行います。

- ⑤ ワイヤの回転により曲がりを通ると抵抗がなくなり、ワイヤを送り込むことができますようになります。

チャックレバーを起こして手でワイヤを挿入してください。管内の状況に応じて、回転方向を正逆切り替えながら作業を行ってください。  
回転方向の変更は一度停止させてから行ってください。

- ⑥ ③～⑤を繰り返して詰まり物を取り除くまで続けてください。



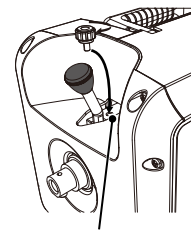
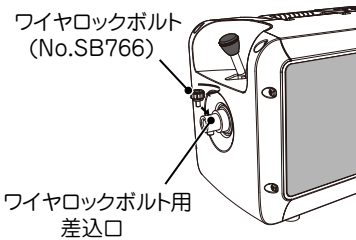
- ・ヘッドが詰まりに喰い込むことによって挿入したワイヤの回転がストップした場合は、逆転（左回転）をさせて喰い込みを外します。その後、再度正転（右回転）を繰り返し詰まりを取り除いてください。

※回転方向の変更は一度停止させてから行ってください。

- ・ヘッド部に詰まり物が引っかかっている場合は、回転を停止させチャックレバーを倒したまま排水口からワイヤを少し引き出し、チャックレバーを起こして、引き出したワイヤをドラムに収納します。この作業を繰り返し行い、ヘッド部の詰まりを排水口から引き出してください。

- ・チャックレバーを倒した状態でワイヤが固定できない、または両手でワイヤを挿入したい場合は、ワイヤロックボルトをワイヤロックボルト用差込口にねじ込んでワイヤを固定してください。

- ・ワイヤロックボルトを使用しない場合、チャックレバーの後側にあるねじ込み口にねじ込んでください。ワイヤロックボルト用差込口にねじ込んだままにするとワイヤロックボルトが外れる可能性があります。



使用しない場合はワイヤロックボルトをねじ込んでおく

## 手動での操作

### ▲ 注意

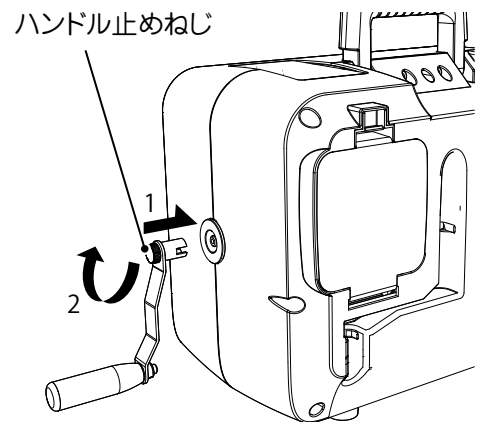
#### ◆ 手動での操作は必ず電源を OFF にして行ってください。

不意に回転した場合ケガや破損をする恐れがあります。

- ① 電源 OFF スイッチを 2 秒長押しして電源を OFF にしてください。
- ② 手動ハンドルを後方の手動ハンドル差込口に差し込み、ハンドル止めねじを締めてください。

※電源が ON のままハンドル止めねじを締めると、安全のため全部の LED が点滅に変わり、操作パネルでの操作ができなくなります。

ハンドル止めねじを緩めて手動ハンドルを外すと、全部の LED が点滅から点灯に変わり、操作パネルでの操作が可能になります。



## ご使用の後に

### ⚠ 警告

- ◆ 清掃や保守・点検のときは、必ずバッテリーを外してください。  
バッテリーがついたまま不用意に本機に触れると感電する恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ◆ 本機を清掃する場合には、ゴム（皮）手袋を着用してください。  
ワイヤに異物が付着している場合があり、不用意に触れるとケガをする恐れがあります。
- ◆ 作業終了後、土、砂、水分などを付着したままにしておくと本機やワイヤが錆びついて、本機内部の故障の原因となります。使用後は必ず清掃して保管してください。
- ◆ 清掃のときは、乾いた布、水、石鹸水をつけた布などで拭くようにしてください。  
ガソリン、シンナー、石油、灯油などを付着させると本機を傷める恐れがあります。

## 清掃

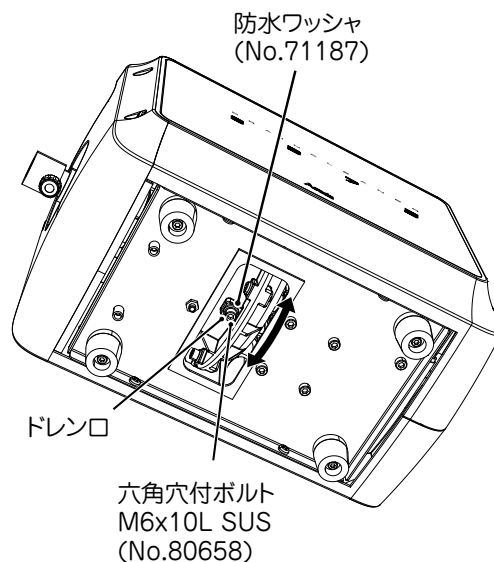
### ● ワイヤの錆び止め

- ① ワイヤおよびヘッドは、使用后必ず水洗いしてください。
- ② 水をよく切った後、防錆剤を吹き付けて保管してください。

### ● ドラム内の水抜き

- ① 手でドラムを回転させて、ドラムのドレン口が下に向くように配置します。
- ② ドラムの六角穴付ボルト M6x10L SUS を外して、ドラム内の水を抜いてください。
- ③ ドラム内の水が抜けたら、六角穴付ボルト M6x10L SUS を取り付けてください。防水ワッシャを忘れずに入れてください。

※防水ワッシャは締めすぎに注意してください。  
パッキンが変形し、水漏れの原因となります。  
(適正締めトルク 10N・cm)



## 保守・点検

- 次の箇所を定期的に点検し、修理または交換を行ってください。
  - ☆ 各部のゆるみ (→増し締め)
  - ☆ 本体外傷 (→修理／交換依頼)
  - ☆ バッテリーの損傷 (→交換)
  - ☆ ワイヤの折れ、破損 (→交換) ワイヤの錆び止め

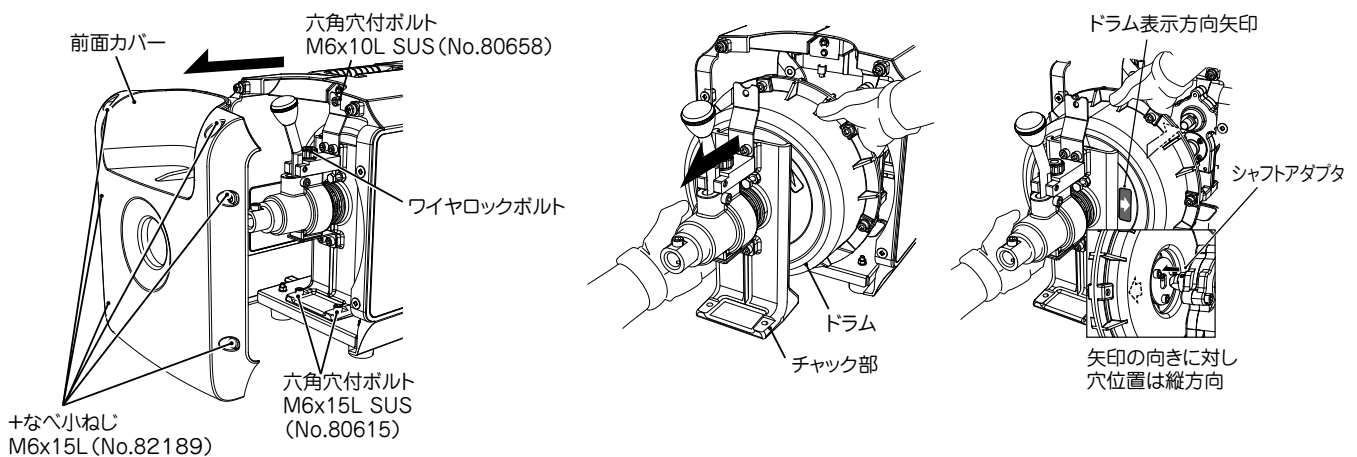
## 本機内およびドラム内の清掃方法

- ① +なべ小ねじ M6x15L(6カ所)を緩めて前面カバーを外し、六角穴付ボルト M6x15L SUS(2カ所)、M6x10L SUS (1カ所)を外します。

※ワイヤロックボルトを外すと前面カバーが取りやすくなります。

- ② チャック部とドラムを一緒に前方へ引き出します。
- ③ 本機内部を清掃します。ドラムを分解しドラム内部を清掃します。
- ④ 清掃が終わったら、外した順序とは逆の順番で戻してください。

※ドラムを差し込む際は、ドラム表示方向矢印を参照し、シャフトアダプタの方向に合わせながら差し込んでください。



## ドラムの分解方法

- ドラムの分解は平らな面にドラムを置き、六角穴付きボルト M6x20L SUS(6ヶ所)を外し、ドラムのボディを外します。  
戻す時は、ドラムプレートにOリングが溝に入っているかを確認し、リップをはめ合わせた後、六角穴付きボルト M6x20L SUS(6ヶ所)を取り付けてください。



## 保管方法

- 次のような場所には保管しないでください。
  - ☆ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
  - ☆ 軒先など、雨がかったり湿気のある場所
  - ☆ 温度が急変する場所や直射日光のあたる場所
  - ☆ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所
- バッテリーの蓋を空けて乾燥させた状態で保管してください。

## バッテリーの廃棄について

- バッテリーはリチウムイオン電池です。  
廃棄の際は、各自治体の処理方法に従ってください。

## 修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断に従って点検してください。  
それでも解決されない場合は、弊社営業所にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や本機の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

| 現象                   | 原因                             | 対策                          |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| ヘッドがワイヤに接続できない       | ピンの動きが悪く、相手のクイックカップリングにはまっていない | ピンの周辺をブラシで清掃し、潤滑剤を塗布してください  |
|                      | クイックカップリングが変形している              | 変形しているワイヤまたはヘッドを新品に交換してください |
| ワイヤが変形した、曲がりクセがついている | ワイヤの先端が引っかかった状態で回転させ続けた        | 新品のワイヤに交換してください             |
| 電源ONにしても起動しない        | バッテリーが外れている                    | バッテリーを取り付けてください             |
|                      | バッテリーの残容量不足                    | バッテリーを充電してください              |
|                      | バッテリーの寿命                       | バッテリーを交換してください              |
|                      | 操作パネルの不良                       | 修理・サービスを依頼してください            |

## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :  
購入年月日:     年     月     日  
お買い求めの販売店

# Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシコト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土日祝日は除く)

支店 / 東京・名古屋・大阪  
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
広島・福岡

海外事業所  
アサダ・タイランド社 (バンコク) 上海浅田進出口有限公司 (上海)  
台湾浅田股份有限公司 (台北) アサダ USA (オレゴン州・ユージン)  
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)

工場  
犬山工場 (愛知県・犬山市)  
アサダ第一精工株式会社 (松阪市)  
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

www.asada.co.jp